

<京浜歴史科学研究会 2008年春の歴史を歩く会>

川崎宿から川崎大師へ



江戸時代に東海道の品川と神奈川の間地点として、また多摩川の渡しの拠点として宿場町が開かれ川崎という町が始まりました。同時に川崎大師が庶民の信仰を集めるようになると多くの人々が川崎を訪れ賑わうようになりました。

明治時代になり街道が廃止され一時期すたれましたが、地元有志の誘致活動もあり多くの工場が進出し、戦争期には軍需工場が建ち並び「工都」と呼ばれるようになりました。川崎は空襲によってほとんどが焼失してしまいましたが、戦後も工業地帯として発展をとげました。しかし同時にそれは「公害」との闘いでもありました。最近、工場跡に大規模な商業施設が建つなど新たな展開も見せています。

川崎の町を歩き、「宿場町」から「工都」へと変わる歴史を探っていききたいと思います。

【日時】4月20日(日)(雨天順延 4月27日<日>)

*実施の問い合わせは当日午前6～7時までに事務局へ

【集合】京浜急行川崎駅改札前 午前10時

【コース】

京浜急行川崎駅 宗三寺 一行寺 田中本陣跡 川崎市役所 稲毛公園(旧小土呂橋石橋遺構、旧六郷橋親柱、平和の塔、石井泰助顕彰碑) 稲毛神社 妙遠寺(泉田二君功德碑) 医王寺 川崎河港水門 大師鉄道発祥の碑 平間寺(海苔養殖記功之碑、橋樹郡出身征清陣亡軍人招魂碑他) <解散>

【参加費】1000円(資料代)

【昼食】昼食(弁当)は各自でご持参下さい

【解散】午後3時頃を予定

【お願い】参加ご希望の方は事務局まで連絡をお願いします

【事務局】横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方
電話(FAX兼)045-825-3736

E-mail: oogo@mvj.biglobe.ne.jp

HP: <http://www.rekikaken.org/rekika>